

訂正版

サブドレン核種分析結果<1/9>

(データ集約：H26 6/6)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 4号機サブドレン
試料採取日	平成25年6月10日	平成25年6月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	2.9E-01	ND
H-3 (約12年)	2.2E-01	2.3E+00
全	ND	ND
全	6.4E-01	1.5E-02
Sr-89 (約51日)	*	*
Sr-90 (約29年)	*	*

E ± とは、 $\times 10^{\pm}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年6月11日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³, Cs-134が約1E-2Bq/cm³, Cs-137が約2E-2Bq/cm³, 全 が約1E-4Bq/cm³*1。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

試料濃度欄の「*」は分析中を示す。

*1 全 の検出限界値を 約3E-3Bq/cm³ 約1E-4Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<2/9>

(データ集約：H26 7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 4号機サブドレン
試料採取日	平成25年6月10日	平成25年6月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	2.9E-01	ND
H-3 (約12年)	2.2E-01	2.3E+00
全	ND	ND
全	6.4E-01	1.5E-02
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.6E-01	ND

NDとは、 $< 1.0 \times 10^{-2}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年6月11日, H-3, 全, 全 については、平成26年6月6日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $1E-2$ Bq/cm³, Cs-134が約 $1E-2$ Bq/cm³, Cs-137が約 $2E-2$ Bq/cm³, 全 が約 $1E-4$ Bq/cm³*1,

Sr-89が約 $3E-1$ Bq/cm³, Sr-90が約 $5E-4$ Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

*1 全 の検出限界値を $約3E-3$ Bq/cm³ $約1E-4$ Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<3/9>

(データ集約：H26 6/6)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 6号機サブドレン
試料採取日	平成25年8月16日	平成25年8月16日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	3.4E-01	ND
H-3 (約12年)	3.6E-01	2.7E-02
全	ND	ND
全	7.1E-01	4.5E-03
Sr-89 (約51日)	*	*
Sr-90 (約29年)	*	*

E ± とは、 $\times 10^{\pm}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年8月17日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³, Cs-134が約2E-2Bq/cm³, Cs-137が約2E-2Bq/cm³, 全 が約3E-3Bq/cm³*1。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

試料濃度欄の「*」は分析中を示す。

*1 全 の検出限界値を 約1E-4Bq/cm³ 約3E-3Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<4/9>

(データ集約：H26 7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 6号機サブドレン
試料採取日	平成25年8月16日	平成25年8月16日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	3.4E-01	ND
H-3 (約12年)	3.6E-01	2.7E-02
全	ND	ND
全	7.1E-01	4.5E-03
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.0E-01	ND

NDとは、 $< 3 \times 10^{-3}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年8月17日, H-3, 全, 全 については、平成26年6月6日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $1E-2Bq/cm^3$, Cs-134が約 $2E-2Bq/cm^3$, Cs-137が約 $2E-2Bq/cm^3$, 全 が約 $3E-3Bq/cm^3$ *1,

Sr-89が約 $9E-2Bq/cm^3$, Sr-90が約 $5E-4Bq/cm^3$ 。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

*1 全 の検出限界値を $約1E-4Bq/cm^3$ $約3E-3Bq/cm^3$ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<5/9>

(データ集約：H26 4/28)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 深井戸
試料採取日	平成25年9月9日	平成25年9月9日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	2.1E-01	ND
Cs-137 (約30年)	4.9E-01	ND
H-3 (約12年)	2.1E-01	7.3E-03
全	ND	ND
全	9.3E-01	ND
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.1E-01	ND

E ± とは、 $\times 10^{\pm}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年9月10日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³, Cs-134が約8E-3Bq/cm³, Cs-137が約7E-3Bq/cm³, 全 が約3E-3Bq/cm³*1,

全 が約2E-3Bq/cm³, Sr-89が約7E-4Bq/cm³, Sr-90が約1E-4Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

2号機サブドレンのSr-89, Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

*1 全 の検出限界値を 約1E-4Bq/cm³ 約3E-3Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3, 全, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<6/9>

(データ集約：H26 4/28)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 1号機サブドレン
試料採取日	平成25年10月14日	平成25年10月14日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	1.1E-01
Cs-137 (約30年)	3.0E-01	2.7E-01
H-3 (約12年)	1.7E-01	8.7E+01
全	ND	ND
全	6.9E-01	3.7E-01
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.1E-01	2.3E-03

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131，Cs-134，Cs-137については，平成25年10月15日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³，全 が約3E-3Bq/cm³*1，Sr-89が約6E-4Bq/cm³。

ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89，Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

*1 全 の検出限界値を 約1E-4Bq/cm³ 約3E-3Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3，全 ，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<7/9>

(データ集約：H26 5/27)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 3号機サブドレン
試料採取日	平成25年11月11日	平成25年11月11日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	3.2E-01	2.1E-02
H-3 (約12年)	1.8E-01	5.5E-02
全	ND	ND
全	5.8E-01	4.6E-02
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	6.2E-02	3.3E-05

E ± とは、 × 10[±] と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年11月12日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³, Cs-134が約1E-2Bq/cm³, 全 が約3E-3Bq/cm³*1, Sr-89が約5E-4Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Srの分析は株式会社 化研にて実施。

*1 全 の検出限界値を 約1E-4Bq/cm³ 約3E-3Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<8/9>

(データ集約：H26 5/27)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 4号機サブドレン
試料採取日	平成25年12月9日	平成25年12月9日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	2.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	5.9E-01	ND
H-3 (約12年)	2.1E-01	7.6E-01
全	ND	ND
全	1.1E+00	1.2E-02
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.4E-01	1.4E-04

E ± とは、 $\times 10^{\pm}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年12月10日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³, Cs-134が約1E-2Bq/cm³, Cs-137が約2E-2Bq/cm³,

全 が約3E-3Bq/cm³*1, Sr-89が約3E-4Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Srの分析は株式会社 化研にて実施。

*1 全 の検出限界値を 約1E-4Bq/cm³ 約3E-3Bq/cm³ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<9/9>

(データ集約：H26 7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 5号機サブドレン
試料採取日	平成26年1月10日	平成26年1月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.7E-01	ND
Cs-137 (約30年)	4.4E-01	ND
H-3 (約12年)	4.2E-01	1.8E-02
全	ND	ND
全	1.4E+00	3.7E-03
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	3.2E-01	3.9E-05

NDとは、 $< 1.0 \times 10^{-3}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成26年1月11日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $1\text{E}-2\text{Bq}/\text{cm}^3$, Cs-134が約 $1\text{E}-2\text{Bq}/\text{cm}^3$, Cs-137が約 $2\text{E}-2\text{Bq}/\text{cm}^3$, 全 が約 $3\text{E}-3\text{Bq}/\text{cm}^3$ *1,

Sr-89が約 $4\text{E}-4\text{Bq}/\text{cm}^3$ 。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

*1 全 の検出限界値を $1\text{E}-4\text{Bq}/\text{cm}^3$ $3\text{E}-3\text{Bq}/\text{cm}^3$ へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。